

どんな?
こんな!

レファレンス

R 資料

なかなか手に取りにくい“調べもの”のための
資料＝通称“R(レファレンス)資料”
ここではレファレンスのスペシャリストが
とっておきの資料を皆様にご紹介します



ふかん 殿様気分で国を俯瞰する

『国絵図読解事典』

小野寺 淳・平井松午／編 創元社 2021 R291

国絵図とは、徳川幕府が江戸時代を通して何度も大名に作成・提出を命じた巨大な極秘地図です。国土基本図の作成は国の支配を意味し、中央政権としての体制を確立するために重要な国家政策

のうちの一つでした。びっしり手書きの文字や絵が書き込まれた地図からは、目で見ただけの情報では後世に残そうという思いが伝わってきます。図版 400 点が収録されており、オールカラーなのでその色使いからも当時を色濃く感じることができる一冊です。

殿様しか見られなかった国絵図、ぜひお手に取ってみてください！

シリーズ
郷土資料

発見！私たちの郷土

市史上最高層

建築計画

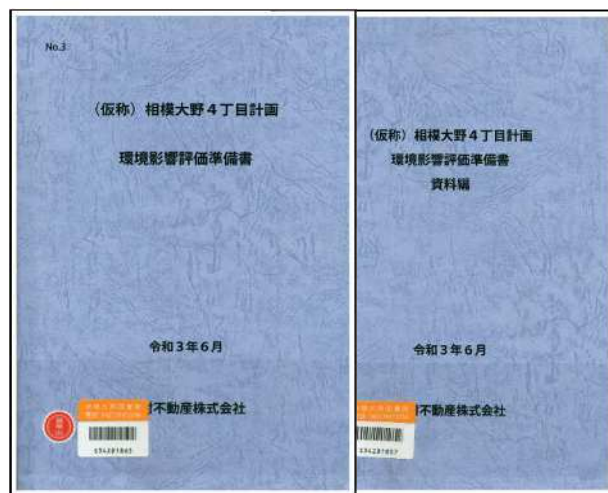
現在解体工事が行われている伊勢丹の跡地には、相模原市史上最高層である地下 3 階、地上 43 階の商業施設兼共同住宅の建設が予定されています。

それは知っているけれど、実際はどんな感じになるの？と気になっている方に有益な資料をご紹介します。

相模原市環境影響評価条例に基づき作成された、当該建築計画の環境評価準備書です。

掲載項目は多岐にわたり、建築計画の概要から、地域環境に与える影響評価結果、複数地点から見た景観予想写真など、手に取ってみると、2025 年 7 月の建物の完成が待ち遠しくなります。

堅い装丁ではありますが、これからの相模大野の姿を知る一助となる資料です。



『(仮称) 相模大野 4 丁目計画
環境影響評価準備書』

『(仮称) 相模大野 4 丁目計画
環境影響評価準備書 資料編』
野村不動産株式会社／編

野村不動産株式会社 2021

K1-51 キ10